

高崎市教育委員会定例会会議録

開 会 年 月 日

令和5年8月24日(木) 午後2時

閉 会 年 月 日

令和5年8月24日(木) 午後2時26分

会 議 の 場 所

教育委員会室

教育長職務
代 理 者

重 田 誠

委 員 神 宮 嘉 一

委 員 田 野 内 明 美

委 員 塩 野 有 希

事 務 局 (説明員)

教育部長 青 柳 正 典

公民館担当部長 川 嶋 昭 人

学校教育担当部長 大 澤 好 則

教育総務課長 小 池 郁 生

社会教育課長 茂 原 久 美 子

文化財保護課長 角 田 真 也

中央公民館長 山 口 順 子

中央図書館次長 齊 藤 寛 方

教職員課長 岡 田 朝 夫

学校教育課長 依 田 哲 夫

健康教育課長 長 岡 誠

教育センター所長 清 水 さとみ

高崎経済大学附属高等学校事務長 新 井 史 代

書記 教育総務課 宮 澤 信 宏

8月24日	会議に附した事件
議案第15号	令和5年度高崎市一般会計補正予算（9月議会提出分）教育費見積書の提出について

高崎市教育委員会 8月定例会会議録

教育長職務代理人（重田誠）

それでは、これより高崎市教育委員会 8月定例会を開会いたします。

議事日程に従いまして、議事を進めさせていただきます。

日程第1 会期の決定といたしまして、会期は、本日1日といたします。

日程第2 会議録署名人の指名といたしまして、会議録署名人に、神宮委員と塩野委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

日程第3 会議録の承認といたしまして、前回の会議録を事前に送付させていただきましたが、内容について何かございますか。

（「なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

「なし」とのお声をいただきましたので、会議録はご異議なしと認め、原案のとおり承認させていただきます。

教育長職務代理人（重田誠）

それでは、本日の議事に入ります。

議案第15号「令和5年度高崎市一般会計補正予算（9月議会提出分）教育費見積書の提出について」を議題といたします。提案理由の説明をお願いします。

（小池 教育総務課長 から秘密会の申し入れ）

教育長職務代理人（重田誠）

ただいま事務局より秘密会の申し入れがございましたが、議案第15号の審議を秘密会とすることでご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

ご異議ないようですので、秘密会といたします。

（秘密会）

教育長職務代理人（重田誠）

それでは、秘密会による審議を終了いたします。

教育長職務代理人（重田誠）

以上で、予定していた議事の審査は終了いたしました。事務局から、その他報告等がございますか。

（「特になし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

事務局からはないようですが、委員の皆様から、ご意見、ご質問等がございますか。

委員（神宮嘉一）

全国的に猛烈な暑さが続いており、暑さ対策というのは喫緊の課題だと思います。おそらく、業種を問わず課題になっていると思いますが、個人的に仕事の関係で言うと、外仕事をする人が多いものですから、ほとんど空調服を装着して作業をしています。やはり装着していないと無理という状況です。学校関係では場所によっては熱中症が起因となって、痛ましい事故が起きていますが、高崎市の熱中症対策をお聞かせいただきたいと思います。

健康教育課長（長岡誠）

山形県米沢市の事案を受けまして、夏休みに入ってからすぐに学校へ熱中症事故防止の事務連絡をいたしました。また、9月1日から新学期が始まりますので、熱中症事故防止について昨日付けで注意喚起の通知を出しました。内容としましては、登校してきた子どもたちと帰る前の子どもたちの健康観察をしっかりと、状況を見てから下校させるということです。学校には暑さ指数計がありますので、活動する前や活動中、活動後に暑さ指数計を基にして、あまりにも暑い場合には活動を取りやめる、または延期するなどの対応をお願いしています。また、基本的な生活習慣では十分な朝食の摂取、それから睡眠、こういったものが大切なので、そういったものも合わせて指導しながら、学校においては、こまめな水分補給と十分な休憩、それから運動等した後は冷房の効いた部屋でクールダウンをしてから健康状況を見て下校をさせる。こういったことに気を付けて取り組んでいただくよう通知を出しております。

委員（神宮嘉一）

WBGT計は、全校管理という状況ですか。

健康教育課長（長岡誠）

はい。全校に配布しています。

委員（神宮嘉一）

我々のところでも作業場ごとにWBGT計の設置が必須な状況です。ただ、危険な数値になっても仕事はやめられないというジレンマの中でいかに対応していくか、それと何かあったときの責任についてです。それを現場の先生や学校単位だけにいかないようにしていただきたい。そうでないと判断に幅がありすぎてどうしようかなという時、もしかしたら悪い方にいった時、その判断した人が個人の責任に転嫁されることがあり得ないとも言えません。そのガイドラインを全市で共有して進めていただけたらと思います。別の業種の仕事の関係者に聞いたのですけれども、若い社員が屋内作業している中で、具合が悪くなって、なんでこんなに具合が悪くなるまで上司に伝えられなかったのか、やはり単純に言い出せないというような状況もあるようです。ですから、なかなか自分から辛いとか体調が悪いと言えない子どもたちもいるでしょうし、また、小さい子に関しては熱中しすぎるあまり、それがわからないこともあるかもしれません。先生方には大変な中だと思っておりますけれども、そういうところも含めて目を光らせていただきたいと思います。

健康教育課長（長岡誠）

4月にガイドラインを各学校に配布しまして、それに基づいて対応しています。また、こういった事案が起きた場合には、躊躇せずに救急車を呼んでくださいと折に触れて伝えていきます。新学期が始まる前にもう1度、管理マニュアル等で体制を確認していただいて、こういった事故が起こらないように学校にお願いしているところです。

教育長職務代理人（重田誠）

ガイドラインに沿ってやるというのは最低限で、神宮委員が言われたように、子どもたちに目を配って、単純な指数だけではなく、子どもたちの状況をよく観察する必要があります。あともう1つは起こったときの対応です。起こった時に、そこで救急車を直ぐ呼んでくれれば良いのですが、遅れることもあるので、マニュアルに沿ってやることと、起こった事案を現場にしっかり通達することが必要かと思えます。

委員（神宮嘉一）

新学期が始まると、やはり環境も変わると思いますので、色々な面でより一層注意していただき、いきなり全員が同じようにできるわけでもないのですが、安全に関しては一番最低限の部分というのを基準にして進めていただきたいと思います。

教育長職務代理人（重田誠）

他にいかがでしょうか。

委員（田野内明美）

8月11日に市民活動センターで行われました長期研修公開講座で、講師を務めさせていただきました。大勢を前にした話し方講座というテーマで、小中の先生方にお話をさせていただきました。アナウンスするに当たって主に2種類あります。1つは事実を話すこと、例えばニュース等の情報、あとは思いを語るということ、その話題を聞いてどう思ったか、感じたのかといったことから、この2つを意識して大勢を前に話されるかと思えますので、そういった事実や思いが伝わる話し方とはどういうものなのか、幾つかの方法でご紹介をさせていただきました。1時間程でしたが、最後までよく聞いていただいたという印象を持ちました。少し具体的に子ども向けにもお話をできれば良かったかなと思えました。最近、子どもたちと番組を通じて話していると、子どもたちはスラスラと暗記をして、凄い集中力で話をします。ただ、どうしても速くなってしまうことが多いです。また、文章を書いてあるものを見ると点がありません。ずっと書きっぱなしになっていて、そうすると読んでいるうちに息も続かなくなるので、「ここで1回区切りましょう」などと話します。そうすると良くなり、彼らの思いが言葉に乗るような機会をよく見受けましたので、そういったお話も少しできれば良かったかなと思っております。ただ、先生方にお話した中では、そのまま参考にしていただけることもありますので、これからお子さん向けに少しアドバイスをいただけたら嬉しいです。楽しい時間を過ごさせてもらいまして、ありがとうございました。

教育長職務代理人（重田誠）

他にいかがでしょうか。

委員（塩野有希）

先日、いじめ防止こども会議が開催されたとのことですが、この会議の内容等を簡単に教えていただきたいと思います。特に、最近の特徴的な子どもの様子やいじめの内容の特徴、また、会議の中で決まった内容を、各学校の他の子どもや家庭にどのようにフィードバックしていくのかというところを伺えたらと思います。

学校教育課長（依田哲夫）

8月19日に小中学校から各1名ずつ代表の児童生徒を集めまして、4年ぶりに対面で行いじめ防止こども会議を開催いたしました。今回のテーマとしましては、いじめの4層構造。被害者、加害者、その周りの傍観者、とその中でも1番割合を占めている傍観者を無くするというテーマで行いました。まず、指導主事から4層構造についての話をし、4つのテーマに分けて中学校区にある小学校も含めて13の班を作り、そこで、「こういった事例があるけれども、みんなだったらどうするか」という意見交換をしました。やはり対象の子どもたちは、誰1人いじめられている子を見たくもないし、いじめたくもない、みんな平等にいたいという気持ちが確認できました。各班で出てきた言葉は、「先生や大人に言おう」「1人で言えなかったら複数で言おう」「勇気を持とう」という案が出てきました。それを事務局でまとめまして、傍観者を無くするためのマニュアルという形で各学校に送付し、各学校でできること、クラスでできること、また、話し合いをしてもらって、傍観者をいじめ側に持っていくのではなくて、いじめを止める側に持っていかうと、そういう話し合いをさせていただきました。印象としましては、本当に子どもたちは話すのが上手く、僕は私とは話をしてくれました。また、リーダーの中学生がよくまとめてくれて、限られた時間の中だったので、沢山の意見が出まして、「僕たちは本当にいじめを止めたい」という気持ちが本当に伝わってくる良い会議でした。翌日の上毛新聞に掲載していただき、そういった取組を始めましょうということを知らせていただきました。子どもたちが中心となってできるような会議を、今後もやっていきたいと思っておりますし、11月には中学生リーダー研修会を予定しておりますので、そこでまた新たな提案が出せると考えております。

教育長職務代理人（重田誠）

他にいかがでしょうか。

（「なし」との声あり。）

教育長職務代理人（重田誠）

他にないようですので、私から最後によろしいでしょうか。

これから2学期になりますが、夏休み中は大きな問題とかありませんでしたか。健康上、あるいは心理上の問題などは大丈夫ですか。

健康教育課長（長岡誠）

新型コロナ関係については、少し増えているという状況もありますが、夏休み中は特に大きな報告は受けていません。

学校教育課長（依田哲夫）

生徒指導面でも、特に大きな問題はありませんでした。

教育長職務代理人（重田誠）

全国的にも群馬県でもコロナが増えています。大人だと検査したがない人もいますので、実際の数より少ないですが、やはり大人は増えています。子どもも少しずつ増えてきています。イベントやお祭りで増えますので、2学期が始まったあたりは気を付けたほうが良いと思います。また、2学期というのは、やはり学校に行けない子どもたちや不登校の子とか、心理的にトラブルを抱える子が多くなりますし、全国的にみても子どもの自殺が増える時期です。今年は初めてコロナによる制限がない夏だったので、結構子どもたちも楽しんだかと思えます。そこから、逆に学校に行きにくくなる子もいるでしょうし、そういった子どもたちの心理面、不登校とか、抑うつ状態とか、そういうことも含めて見ていただけるといいかなと思います。子どもたちの心理面や不登校の対策についてはいかがですか。

学校教育課長（依田哲夫）

今週は各学校で夏休みの課題提出日を設けております。そこで学校は提出に来た子どもたちの様子を観察し、提出がなされない子どもと連絡を取りながら、家庭との連携を図っているところです。来週、8月29日に定例校園長会議がありますので、そこで自殺予防や不登校対策についてのお願いをし、9月1日には、学校教育課から全学校に連絡がとれない児童生徒の確認と、その報告を行うように指示を出させていただいて、追ってスクールソーシャルワーカーの活用であるとか、もし家庭的に子どもたちが家事をしていて学校へ来られないとなれば、ヤングケアラーの担当に繋いでいく、そのように考えております。

教育長職務代理人（重田誠）

対策はしっかりされていると思います。よろしく申し上げます。

教育長職務代理人（重田誠）

それでは、以上をもちまして、教育委員会8月定例会を閉会させていただきます。
本日は大変ご苦勞様でした。